

タブレット端末の安全な使用のために



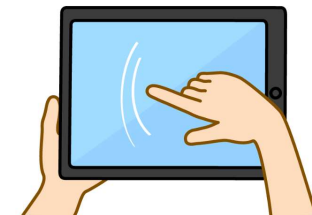
- ① ログインの時に必要なIDやパスワードは、他人に教えない

IDとパスワードが分かれば別の端末でもログインできてしまいます。

IDとパスワードは銀行の暗証番号と同じくらい秘密にしておかなければならない「個人情報」です。決して他人に伝えてはいけません。



タブレット端末の安全な使用のために

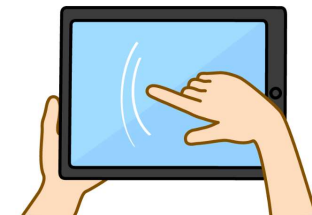


② インターネットで一度書き込んだものは取り消せない

一度インターネット上で書き込んだ内容は、いろいろな所で保存されます。自分では消したつもりでも、消えていないことがほとんどです。内容を十分に確認してから書き込みましょう。



タブレット端末の安全な使用のために



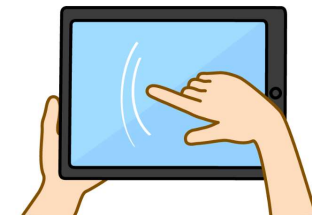
③ 相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりすること
を書き込まない



言葉で相手を傷つけることは許されません。それは、普段の生活と同じです。

書き込みをするときは、画面の向こうに、それを見ている無数の人がいることを忘れてはいけません。

タブレット端末の安全な使用のために

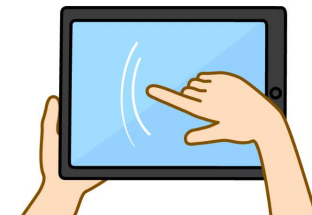


- ④ インターネットに匿名性はなく、誰が書いたか必ずわかることを知っておく



インターネットに繋がっているときは、それぞれの端末のIPアドレス（パソコンの住所のようなもの）が送信されています。自分の名前を隠しても、悪質な行為は特定されます。自分の行動には責任をもちましょう。

タブレット端末の安全な使用のために



- ⑤ 自分や他人の個人が特定できる情報（名前、住所など）は、書き込まない

インターネットは、誰が見ているかわかりません。誰が情報を保存しているかわかりません。

個人情報（住所や名前など）は決して書きこんではいけません。



タブレット端末の安全な使用のために



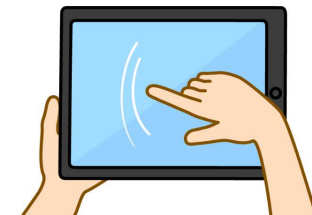
- ⑥ カメラで誰かを撮影する際は、勝手に撮影せずに相手の許可をもらう

カメラは、小学生低学年でもできる最も簡単な機能の1つです。

悪気はなくても、他人を勝手に撮影することは、相手を傷つけてしまうことになることを、大人が教えてあげましょう。



タブレット端末の安全な使用のために



⑦ 人や地域が特定されるような画像をインターネットに勝手にあげない



人が映っていないからと安心してはいけません。画像に映っている建物や看板から、撮影した人が生活する地域を特定されてしまいます。

撮影するものの設定によっては、画像に位置情報が保存されることもありますので気を付けてください。

タブレット端末の安全な使用のために

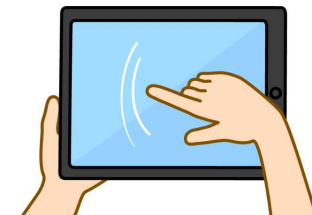


- ⑧ インターネット上には悪意のある大人がいることを知っておく

画面の向こう側には、大勢の人がいます。友だちだけでなく、知らない人もいます。相手を騙そうとする人もいます。知っておきましょう。



タブレット端末の安全な使用のために



⑨ 有料サービスなどに、安易に課金しないようにする



無料のゲームやアプリでも、途中からオプションで課金することができるようになっています。勝手に子どもに課金させないようにしましょう。